

高

等

部

学

部

紹

介

## 1, 高等部教育目標

『 生徒一人一人の持つ力を大切にし、自ら積極的に社会に関わる生徒を育成する。 』

## 2, 目指す生徒像

○自分の役割を自覚し、みんなで力を合わせ活動できる生徒。

⇒ 『なかよく』

○生活習慣を整え、元気に活動できる生徒。

⇒ 『げんきで』

○目標を持ち、最後まで粘り強く取り組むことができる生徒。

⇒ 『がんばる』

### 3, 指導の重点

- 集団生活を通して、生徒相互の人間関係を育てる。
- 学校生活全体を通して、心身の健康を維持・増進し、体力の向上を図る。
- 生徒一人一人の持つ力を生かし、生活に結びつく資質や能力を身につける。
- 卒後の進路を意識し、社会生活に必要な能力と自立を目指した生活態度を身につける。

### 4, 経営上の努力点

- 学部内で共通理解を図り、チームで指導支援を行う。
- 生徒の持つ力を大切にした指導を行うために、教職員の学びを推進していく。
- 生徒一人一人の実態を把握し、興味や関心、生活年齢、学習状況や経験を考慮した指導内容と学習グループ編成に留意する。
- 生徒が体験を通して、生活経験を広げられる学部行事の計画と実践に努め、学校生活の充実を図る。
- 家庭や地域関係諸機関との連携を密にし、計画的に自立に向けた進路指導・相談を行う。

## 5. 学級編成及び生徒数

クラス	生徒内訳	合計
1年1組	男子： 7 名 女子： 1 名	計 8 名
2年1組	男子： 4 名 女子： 2 名	計 6 名
3年1組	男子： 3 名 女子： 1 名	計 4 名
重複1組	男子： 0 名 女子： 3 名	計 3 名
		合計 21 名

## 6. 高等部・作業学習

< ねらい >

★働くことへの意欲や態度を育て、職業生活に必要な資質・能力・態度を育てる★

**陶工**

☆粘土を成型し、釉薬をかけて食器や季節陶器の製作☆

製品例：大皿、長皿、お雛様、花器、桜皿、ハイドゥルチャー 等

**木工**

☆電動のこぎりやサンダー等を使用して、製品製作をする☆

製品例：すのこ、ｺｰｽﾀｰ、PCラック、ｽﾏｰｽﾀﾝﾄﾞ ﾊﾞﾝﾅ 等

**農園芸**

☆農機具を用いた畑や校庭の環境整備や、野菜の栽培・収穫☆  
製品例：野菜(じゃが芋、枝豆、椎茸、さつまいも)腐葉土等

**手工芸**

☆さをり織り機を使用した、製品製作☆  
製品例：ランチマット、マフラー、ランチバッグ、ティッシュケース、ポーチ 等